

## 飯山の中高生がオーストラリアで国際交流 バサーストキャンパスを訪問

11月18日～24日、飯山市の中高生がオーストラリアを訪問し、現地の方々と交流を行いました。

交流のきっかけは飯山高校及び飯山市教育委員会（城南中学校・城北中学校）が、平成26年11月に、オーストラリアのデニンソンカレッジ・バサーストハイキャンパスと姉妹校協定を締結したことです。



先生やホストファミリーと一緒に学校前で記念撮影

以来、両校が相互に訪問しながら交流を続けてきたもので、今回はコロナ禍で中断していた交流を4年ぶりに再開し、飯山高校2名、城南・城北中学校各4名、計10名の生徒が参加しました。生徒は、市内小中学校で勤務するALT（外国語指導助手）を講師に、現地の文化や英会話を学習する事前学習会で学習し、この訪問に臨みました。

南半球の国という事で、9時間以上飛行機に乗り、シドニー空港に到着。その後、4

時間以上飛行機に乗り、シドニー空港に到着。その後、4



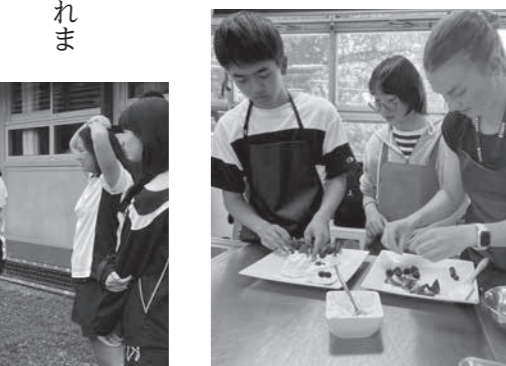
4年ぶりの交流再開で松木教育長も訪問に同行し、11月20日にはバサースト市を表敬訪問。(写真右は対応したマーガレット・ホーガン市議)



シドニー市内見学では世界遺産のオペラハウスも見学。

時間ほどバスで移動し、交流を行うバサースト市に到着しました。滞在中は、昼間はバサーストハイキャンパスで生徒と交流しながら活動、学校が終わると生徒のお宅にホームステイさせていただき、朝から晩まで、英語漬けで異文化を体験する日々を過ごしました。

滞在期間中は、どの生徒も積極的に英語でコミュニケーションし、帰国間際の土産店では、当たり前のように英語を使って店員と会話し買い物



バサースト校の生徒と英語で交流する飯山の生徒の皆さん

## 城南中・城北中の女子チームが出場 北信越中学校駅伝競走大会結果

11月25日、第17回北信越中学校駅伝競走大会が長野市陸上競技場周回コースで行われました。

飯山市からは長野県大会を好成績で勝ち進んだ、城南中学校と城北中学校の女子チームがそれぞれ出場しました。

5区間、11.6kmで争われた競技の結果は以下のとおりです。

- 女子の部
- ・第17位 城北中学校
- ・第30位 城南中学校



## 4年ぶりに「飯山栄チーム」として出場

## 第72回長野県縦断駅伝競走大会

11月19日、松本市から飯山市までの12区間98・72キロをタスキでつなぐ、第72回長野県縦断駅伝競走大会が開催されました。

この大会に出場するためには、高校生以上の参加選手全員が参加標準記録を上回っていることが要件となっており、昨年の大会では、この条件に合ったチーム編成ができず、合同チームとしての参加でした。しかし

今大会は、全員が参加標準記録をクリアし、中止となった2大会を含め、4年ぶりに「飯山栄」として単独チームで出場することができました。

大会では各選手がそれぞれ健闘して、総合12位という成績をおさめました。テレビ飯山など県内ケーブルテレビ局で生中継された今大会。市民の皆さんからの温かいご声援ありがとうございました。



沿道で応援するチーム関係者の皆さん

## 学習権シリーズ

### 異年齢保育を通じた「優しいかわり」 秋津保育園長 山崎 直子

現在、0歳児から5歳児まで43名の子どもたちが在園している秋津保育園では、異年齢同士のかかわりを通じて「自分のことも友だちのこともいいな」と思える機会・環境づくりを力を入れて保育園全体で取り組んでいます。

登園後の朝の自由あそびでは、異年齢のかかわりが楽しい時間として共有できるように、自分のクラスに関係なく、あそびたいものやあそびたい部屋を子ども自身が無理なく自分の意思で選べるように配慮しています。例えば、4歳児の子どもが5歳児の部屋へ行き、5歳児の子どもとオセロゲームをやったり、異年齢の子どもたちが複数でままごとあそびをしたりしています。

こうした日々のかかわりを通じて、年長児が午睡後も年下のクラスへ行き、目覚めにやさしく言葉をかけてあそびに誘うなど、異年齢同士のかかわりが広がっています。小さい子や相手の気持ちに合わせたか